



2018年1月17日

アナログ・デバイセズ、
帯域幅が 7GHz、OIP3 が 20dBm の低消費電力アクティブ・ミキサ
LTC5562 を発表

アナログ・デバイセズ株式会社

[アナログ・デバイセズ社](#) (NASDAQ : ADI) は本日、30MHz~7GHz という非常に広い周波数帯域で 50Ω に整合可能な、低消費電力の高性能アクティブ・ダブルバランスド・ミキサ「[LTC5562](#)」の販売を開始しました。この汎用性の高いミキサは、周波数のアップコンバージョンとダウンコンバージョンのいずれのアプリケーションにも使用可能で、+1dB の変換利得があります。3.3V の単一電源で動作し、公称動作電流は 40mA です。消費電力をさらに低く抑える必要があるなら、最小 15mA の電流で動作するように設定できるので、幅広い携帯型および可搬型の RF アプリケーションに対応可能です。さらに、このミキサはダイナミック・レンジ性能が極めてすぐれており、周波数 3.6GHz での OIP3 が +20dBm です。

■LTC5562 の特長

- 整合時の入力周波数 : 30MHz~7GHz
- 整合時の LO 周波数 : LF~9GHz
- 差動出力 IF 周波数 DC~7GHz
- アップコンバージョンまたはダウンコンバージョン
- 高い出力 IP3
3.6GHz で 20dBm
5.8GHz で 17dBm
- 低い LO 駆動レベル -1dBm
- 低い LO-RF 間リーク 5.8GHz で -30dBm
- 変換利得 5.8GHz で 2dB

LTC5562 は、低消費電力、広帯域動作、非常に高いダイナミック・レンジを実現した製品で、携帯型テスト装置、バッテリー駆動の公共安全および緊急無線機、軍用背負式無線機、携帯型モデム、広帯域アクセス・ポイントおよび小型セル基地局、ライセンスフリー・バンドの無線機、リモート制御装置、放送用無線機、UAV/ドローン無線機などのさまざまなモバイル・アプリケーション

に最適です。

LTC5562は2mm x 2mmの小型10ピン・プラスチックQFNパッケージで供給され、-40℃～105℃のケース表面温度で仕様が規定されています。イネーブル・ピンを使って外部コントローラからシャットダウンできるので、さらなる省電力化が可能です。ディスエーブル時には、デバイスの電源電流は標準でわずか10μAになります。

価格と提供時期

下記表中の価格は米国での価格です。

| 製品 | 量産出荷 | 1,000個 受注時の単価 | パッケージ |
|---------|------|------------------|-------------------------|
| LTC5562 | 製造中 | 4.75ドルから | 10ピン、2mm x 2mmプラスチックQFN |

【関連資料】

- LTC5562の製品詳細：<http://www.linear-tech.co.jp/product/LTC5562>

##

アナログ・デバイセズについて

アナログ・デバイセズは1965年の創業以来、高性能アナログで世界をリードし、さまざまな技術的課題を解決してきました。世界にインパクトを与えるイノベーションを実現するために、私たちは最先端のセンシング、計測、パワーマネジメント、通信、信号処理技術で、アナログとデジタルとの懸け橋となり、世界の動きをありのままに描き出します。

想像を超える可能性を—アナログ・デバイセズ <http://www.analog.com/jp>

アナログ・デバイセズの公式 Twitter (日本版) [@AnalogDevicesJP](https://twitter.com/AnalogDevicesJP)

■本リリースに関する報道関係者からのお問い合わせ先■

アナログ・デバイセズ株式会社 マーコム担当

電話 03-5402-8270 marcom.japan@analog.com

または

株式会社プラップジャパン 担当：谷本、宮原

電話 03-4580-9109 analogdevices.pr@ml.prap.co.jp